

第2期 貸借対照表および損益計算書

兵庫県伊丹市北伊丹5丁目43番地1
 ケイ低温フーズ株式会社
 代表取締役社長執行役員 染谷 昭

貸借対照表

(平成19年9月30日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	15,669,836	流 動 負 債	15,728,286
現金及び預金	1,755,518	買掛金	13,733,038
受取手形	199,459	未払金	827,242
売掛金	9,540,466	未払法人税等	7,451
商 品	927,530	未払消費税等	48,059
繰延税金資産	65,201	未払費用	946,759
未収入金	934,990	賞与引当金	141,985
預 け 金	2,202,254	そ の 他	23,750
そ の 他	49,690	固 定 負 債	811,225
貸倒引当金	△ 5,275	退職給付引当金	758,223
固 定 資 産	2,604,623	そ の 他	53,002
有形固定資産	990,013	負 債 合 計	16,539,512
建 物	476,960	(純 資 産 の 部)	
構 築 物	5,235	株 主 資 本	1,801,655
機 械 装 置	6,384	資 本 金	1,200,000
車 輛 運 搬 具	2,627	資 本 剰 余 金	698,412
工 具 器 具 備 品	13,870	資本準備金	698,412
土 地	484,935	利 益 剰 余 金	△ 96,756
無形固定資産	267,410	その他利益剰余金	△ 96,756
の れ ん	260,332	繰越利益剰余金	△ 96,756
ソ フ ト ウ ェ ア	7,078	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 66,708
投資その他の資産	1,347,198	その他有価証券評価差額金	△ 66,708
投資有価証券	1,130,707	純 資 産 合 計	1,734,947
関係会社株式	16,290	負債及び純資産合計	18,274,459
長期貸付金	5,863		
敷 金	66,149		
繰延税金資産	122,640		
そ の 他	6,354		
貸倒引当金	△ 805		
資 産 合 計	18,274,459		

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成18年10月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額	
	内 訳	合 計
売 上 高		77,974,324
売 上 原 価		71,244,424
売 上 総 利 益		6,729,900
販売費及び一般管理費		6,818,682
営 業 損 失		88,782
営 業 外 収 益		
受取利息	12,869	
受取配当金	9,619	
不動産賃貸収入	15,582	
その他の他	18,169	56,241
営 業 外 費 用		
不動産賃貸費用	19,524	
その他の他	31	19,555
経 常 損 失		52,096
特 別 利 益		
貸倒引当金戻入益	17,684	17,684
特 別 損 失		
固定資産除却損	3,454	
リース物件解約損	3,798	
その他の他	2,709	9,962
税 引 前 当 期 純 損 失		44,374
法人税、住民税及び事業税		31,854
法人税等調整額		△ 6,092
当 期 純 損 失		70,135

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 商 品 …………… 先入先出法による原価法
2. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - (1) 関係会社株式…………… 移動平均法による原価法
 - (2) その他有価証券
 - 時価のある有価証券…………… 決算期末日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法により算定しております)
 - 時価のない有価証券…………… 移動平均法による原価法
3. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産…………… 定率法 ただし、建物(建物附属設備を除く)は定額法
 なお、耐用年数及び残存価額については法人税法に規定する
 方法と同一の基準によっております。
 - (2) 無形固定資産…………… 定額法
 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間
 (5年)に基づく定額法により計上しております。
4. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金…………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については
 貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については個別に回収可能
 性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
 - (2) 賞与引当金…………… 従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額の当期負担分を
 計上しております。
 - (3) 退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、簡便法により当事業年度末に
 おける期末要支給額に基づき、当事業年度末において発生して
 いると認められる額を計上しております。
5. リース取引処理方法…………… リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の
 ファイナンス・リース取引については通常の賃貸借取引に係る
 方法に準じた会計処理によっております。
6. 消費税等の会計処理方法…………… 税抜方式を採用しております。
7. のれんの償却に関する事項
 のれんの償却については、5年間の定額法により償却を行っております。

【会計処理の変更】

1. 有形固定資産の減価償却の方法
 当事業年度から法人税法改正に伴い平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正
 後の法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。
 これによる損益に与える影響は軽微であります。
2. 企業結合について
 当事業年度から「企業結合に係る会計基準」及び「事業分離等に関する会計基準」を適用して
 おります。

2. 貸借対照表に関する注記

1. 関係会社に対する債権債務	売掛金	50,496	千円
	預け金	2,200,023	千円
	買掛金	555,894	千円
	未払費用	278,781	千円
2. 有形固定資産の減価償却累計額		41,775	千円
3. 担保に供している資産	土地	21,114	千円
.....①	建物	35,465	千円
上記担保権によって担保されている債務		950,615	千円
.....②	投資有価証券	385,696	千円
上記担保権によって担保されている債務		1,503,908	千円
4. 保証債務	:他の会社のリース物件のリース残高に対し、保証を行っております。		
	エフエフ水産株式会社	2,688	千円
5. 当会計年度末日満期手形の会計処理については、当会計年度末日が金融機関の休業日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。			
	当該金額	39,044	千円
	受取手形		

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引	営業取引	売上高	205,873	千円
		仕入高	4,212,079	千円
	営業取引以外の取引高	輸送費他	1,717,815	千円

4. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
(流動の部)

繰延税金資産	賞与引当金繰入額	57,361	千円
	未払法定福利費	7,539	千円
	未払事業税	300	千円
繰延税金資産 合計		65,201	千円

(固定の部)

繰延税金資産	退職給付引当金損金算入限度超過額	219,676	千円
	固定資産減価償却超過額	33,891	千円
繰延税金資産 合計		253,567	千円

繰延税金負債	その他有価証券評価差額金	130,928	千円
繰延税金負債 合計		130,928	千円
繰延税金資産の純額		122,640	千円

5. 関連当事者との取引に関する注記

(単位:千円)

属性	名称	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	加藤産業(株)	被所有 61.24%	商品の販売及び仕入他	業務用食品等の販売	205,215	売掛金	50,275
				ドライ商品等の仕入	554,908	買掛金	89,578
				資金預け入		預け金	2,200,023
				賃借料等支払	348,535	未払費用	55,678
子会社	エフエフ水産(株)	所有 100.00%	商品の販売及び仕入	水産品の売上	329	売掛金	188
				水産品の仕入	1,125,720	買掛金	73,708
	カネ物(株)	所有 100.00%	物流委託	輸送費等支払	1,369,280	未払費用	223,102
親会社の 子会社	和歌山産業(株)	なし	商品の仕入	菓子の仕入	196,129	買掛金	80,012
その他の	日本水産(株)	被所有 33.74%	商品の販売及び仕入	冷凍食品等の売上	328	売掛金	33
				冷凍食品等の仕入	2,531,450	買掛金	392,608

取引の条件及び取引条件の決定方針

価格その他の取引条件は、市場価格等を参考に価格交渉の上決定しております。

6. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	808円20銭
1株当たり当期純損失	32円67銭